



ひなどり

園だより 10月号
平成30年10月3日
新潟市立新津第三幼稚園

幼小連携で子どもの社会性を伸ばす

園長 間嶋 哲

運動会が無事終わりました。途中多少の雨粒もありましたが、何とか小学校のグラウンドで実施できました。保護者の方にも、様々なご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

広いグラウンドや体育館を使って、思いっきり走り回り、たっぷりと汗をかく。そんな光景を、運動会前に毎日のように眼にしました。小学校に隣接し、幼小連携が自然な形で進められている当園だからこそできることです。

先日、全体練習をグラウンドで行っていると、次に使用する小学校2年生の子どもたちが、傍らで「がんばれ」と応援してくれていました。きっと小学生たちも、自分たちが小さかった頃を思い出して、声援してくれているのでしょう。

これまでの練習の様子を見ていると、もともと小学校教員だった私には、幼稚園の先生方の大変さが分かります。集団で何らかの演技をする際の、立ち位置や動き方を正しく教えることはもちろん、走ること一つとっても、小さな子どもに教えることの難しさを感じます。直線だったら、いかに曲がらずに走るのかであったり、曲線ならどう走ることが無駄のない走り方につながったりするのかなどです。これらは、経験を上手に積み上げていながら、体で覚えていくことです。細かいステップを踏んで、確実にできるようになっていくその過程を見ていると、「きっと、自分もそうやって成長したのだろうなあ」という思いを持たせてくれます。

普段の保育の中でも、例えば小学校の校舎まわりを散歩したり、休み時間中の小学生と自然な交流を図ったりしています。意図的に異年齢の子ども（小学生も含む）と交流をさせていくことは、子どもの教育に意義があると考えているからです。教育の現場は、小さな社会ともいええます。小学校と幼稚園合わせて880名の子どもがいるからこそ、「人間には、一人一人それぞれ違う良さがある」ことや「でも、苦手なこともある」ことに気付くのです。人間社会が実に多様であることを知ることは、社会性を育てる一歩となります。

小学生の応援団が幼稚園に来てくれた様子などは、新津第三小学校のホームページからも、ご覧いただけます。当幼稚園のホームページとの相互リンクが貼られていますので、どうぞご覧ください。もちろん「新津第三幼稚園の様子」も、昨年度からすでに126件の記事（画像つき）がアップされています。日々の保育の様子も、併せてご覧ください。

